





やうやういふよふぢうぢ
 以ハカ集ハハハハハハ
 てせハハ集ハハハハハハ
 よハハハハハハハハハハ
 こハハハハハハハハハハ
 又ハハハハハハハハハハ
 紙ハハハハハハハハハハ
 ハハハハハハハハハハハ
 ハハハハハハハハハハハ



しつて早流が
しよつて物字のあ
みふに海に海しつら
て谷々の敷とせわ
ハ昔のよとせわの約あり
ハよしなれしつら集む
こつて流しつらな多しな
とつて流又しつらなれ
るふたもつしつらな流あり

やしつらなれしつらなれ
ひくして未勘國乃ん
ぬつてあれしつらなれ
せつて全部一冊なり
たつて枕詞の終つて
つて凡和歌のなつて
らぬしつらなれしつら
しつらなれしつらなれ
らぬしつらなれしつら

と秋あしとくううがらと
 うこしとくもつゆの
 けしあれた秋のたのま
 うきとくううがらと
 もつゆがたんのあふ
 とつゆがらと
 とつゆがらと

哥枕秋乃松と月録

山	一	嶺	五七	谷	六二
松	六三	坂	六四	洞	六五
岡	六七	路	七一	園	七二
森	七七	林	八二	野	八三
原	九六	牧	百一	田	百三
橋	百六	海	百一	浦	百五
濱	百六	沼	百一	嶋	百三
崎	百八	津	百十	泊	百一
灘	百十二	門	百十三	渡	百十四
淀	百十六	磯	百十七	沖	百十九
瀨	百二十	瀬	百二十一	岸	百二十三

下 行 水 川

○ *Handwritten cursive script*

○ *Handwritten cursive script*

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

支本

Handwritten cursive script

○ *Handwritten cursive script*

Handwritten cursive script

○ *Handwritten cursive script*

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

○ *Handwritten cursive script*

○ *Handwritten cursive script*

Handwritten cursive script

○ *Handwritten cursive script*

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

Handwritten cursive script

秋吉

人丸

妹のまはらあぢいさうおとを妹の侍らあん
内まゝるんよ侍りてさくから侍らさ
さうのまゝとてさけいさ侍せとらん

佐中時山

〇いづれや山のふもとにけりていづれ
さうりね林

日徳松

〇いろがさ山のふもとに侍の松よささ
つり田あり

周防 松多

〇いづれふと さうりさうりさうり
いづれいづれさうりさうりて秋のせこ

五七

さうりさうりさうりさうりさうりさうり
いかな向てさうりさうりさうりさうり
ありさうりさうりさうりさうりさうり
さうりさうりさうりさうりさうりさうり

北伊妹背

〇いづれさうり山の妹の背ふとて二なり

夫婦のふとさうりさうりさうりさうり
さうりさうりさうりさうりさうりさうり

ふとさうりさうりさうりさうりさうり
さうりさうりさうりさうりさうりさうり
さうりさうりさうりさうりさうりさうり

冬

かゝるては妹のふとの中はさうりさうり
北山のさうりさうりさうりさうり

日今来

〇いづれ山の 可馬のまはらさうりさうり
さうりさうりさうりさうりさうりさうり

日録鹿

〇いづれ山の 青松のさうりさうり
さうりさうりさうりさうりさうりさうり
鹿 お茶松 谷のの里

山城 松山

〇いづれ山の 傍に偏に侍らさうり

古くは... 舟の... 舟の... 舟の...

舟の... 舟の... 舟の...

舟の... 舟の... 舟の...

舟の... 舟の... 舟の...

舟の... 舟の... 舟の...

○... 多ハ... 舟の...

舟の... 舟の... 舟の...

舟の... 舟の... 舟の...

○... 舟の... 舟の...

舟の... 舟の... 舟の...

舟の... 舟の... 舟の...

舟の... 舟の... 舟の...

舟の... 舟の... 舟の...

舟の... 舟の... 舟の...

舟の... 舟の... 舟の...

舟の... 舟の... 舟の...

舟の... 舟の... 舟の...

舟の... 舟の... 舟の...

舟の... 舟の... 舟の...

舟の... 舟の... 舟の...

舟の... 舟の... 舟の...

舟の... 舟の... 舟の...

舟の... 舟の... 舟の...

舟の... 舟の... 舟の...

舟の... 舟の... 舟の...

○... 舟の... 舟の...

舟の... 舟の... 舟の...

舟の... 舟の... 舟の...

舟の... 舟の... 舟の...

○... 舟の... 舟の...

ついでに又さうなるも
はさうしう時鳥一の里

○いさよの山

さき ちかみ

ついでに又さうなるも
はさうしう時鳥一の里

○いさよの山 橋の里

橋の里 仲実

○いさよの山

さき ちかみ

○いさよの山

さき ちかみ

○いさよの山

○いさよの山

○いさよの山

さき ちかみ
ついでに又さうなるも
はさうしう時鳥一の里

○いさよの山

さき ちかみ

○いさよの山

さき ちかみ

○いさよの山

さき ちかみ

○いさよの山

名考

よきよき後しをさふて丸手鉄のやうに

日千幸

○ちとせのころ 後のとよりなりねし

さし だせ きた せん 〇

野馬 千夜布

○ちとせ

百十五

おきおれう ぬらう ぬらう ぬらう ぬらう ぬらう

山城 灵山

○ちとせ

おきおれひん ぐらまひん ぐらまひん ぐらまひん ぐらまひん

いん ぐらまひん ぐらまひん ぐらまひん ぐらまひん

保勢 市川

○ぬのびん

名考

おきおれひん ぐらまひん ぐらまひん ぐらまひん ぐらまひん

山城 善治

○ちとせ

おきおれひん ぐらまひん ぐらまひん ぐらまひん ぐらまひん

おきおれひん ぐらまひん ぐらまひん ぐらまひん ぐらまひん

ちの里れこうのいーいー 花とせ

どろ 卯花垣 町馬 ぶき 兼井控

うの馬 木下流 若れ川 幸あり川

里 日 流 日

名考

おきおれひん ぐらまひん ぐらまひん ぐらまひん ぐらまひん

日

おきおれひん ぐらまひん ぐらまひん ぐらまひん ぐらまひん

日

おきおれひん ぐらまひん ぐらまひん ぐらまひん ぐらまひん

おきおれひん ぐらまひん ぐらまひん ぐらまひん ぐらまひん

おきおれひん ぐらまひん ぐらまひん ぐらまひん ぐらまひん

日 名考

○ちとせ

ちの里れこうのいーいー 花とせ

おきおれひん ぐらまひん ぐらまひん ぐらまひん ぐらまひん

おきおれひん ぐらまひん ぐらまひん ぐらまひん ぐらまひん

名考

尾張音用
○とくしんりーのん

又木
おんしんりーのん
うん

二振音代
○とくしんりーのん

又木
おんしんりーのん
重保

近に音高
○とくしんりーのん

後子
おんしんりーのん
匡房

日小野
○とくしんりーのん

おんしんりーのん
雅純

他法 映枝
○とくしんりーのん
月元 友之助

保 一の花 時鳥 豊

友
我

我のこころの文 鏡花 子照月
人丸

おんしんりーのん
百七

記伴 松枝
○とくしんりーのん

おんしんりーのん
名め

淡路 破 馭 盧
○とくしんりーのん
日本官物 のん

おんしんりーのん
おんしんりーのん

おんしんりーのん
おんしんりーのん

日和豆香
○とくしんりーのん
おんしんりーのん

おんしんりーのん
おんしんりーのん

相模 和平 可 鶏
○わんしんりーのん

近に就き山 〇りの山 天竺山よりなるていふあり

いづかの松つきの山 一峰を載せ
松一の光一の山 一の山

〇ワシレの山 一の山

〇ワシレの山 一の山 去接

〇ワシレの山 一の山

〇ワシレの山 一の山 人丸

〇ワシレの山 一の山

〇ワシレの山 一の山

〇ワシレの山 一の山 月日

〇ワシレの山 一の山

〇ワシレの山 一の山

〇ワシレの山 一の山

〇ワシレの山 一の山

〇ワシレの山 一の山

〇ワシレの山 一の山

〇ワシレの山 一の山

〇ワシレの山 一の山

〇ワシレの山 一の山

〇ワシレの山 一の山

○うきうき山

秋もみ林邊のまき浦て山の上のまき浦は遠火

○うきうき山 野原のまき浦

相模鎌倉 行旅

○うきうき山 花町鳥

○うきうき山 萩

○うきうき山

懐才 家おもしろくても世中今に留めよと

○うきうき山

鹿とあり 野浦 浮崎 神宮

○うきうき山 鏡

さ世と鏡ひ又ハ方のまき浦

いり 橋 呼子鳥 けれ花 郭公

名茶 玉振松 ぶらり 鹿 山光

○うきうき山

日神会 名茶 三若よりつむみおわりぬ

○うきうき山

徳教 何かおもしろくとも神の本意は

信濃 凡載

○うごごごの山 おぼくうさこころの山

○うごごごの山 法より多池の山

○うごごごの山 肥後

○うごごごの山

○うごごごの山 夫木

○うごごごの山 秋

○うごごごの山 ふらふら又夕雲の公重よりけ

○うごごごの山 丹波 祇園 大和 有月名

○うごごごの山 千載

○うごごごの山

○うごごごの山 秋

○うごごごの山 月 如奈野

○うごごごの山 夫木

○うごごごの山

○うごごごの山 産多

○うごごごの山

○うごごごの山 又木

○うごごごの山

○うごごごの山 伊予 林 藏

こころの持ちよ 雪奴もるる雲の
うけもきの下をうらなふのひ
おのく山鳥 官川善治川の里日遊日

古今

唐人不知

まはるるもつれいよめまきれたのよふ雲に降る

友判

いふせいのしほの橋にたつこのせあやふし

唐人不知

夕暮れ夜はさうとふれきせのふふ雲降

日

意はつれふし遊たれ二日とも雲降る月夜

これのり

こころの言をたつしを言ふてなかりたふ

唐人不知

こころのちかき雲もれの本河のうらなふ

日

世もたれがうらなふたれいよめまきれたのよふ雲に降る

たかかすうらな

序ありけふは雲ももさけんとさふ雲降

後撰

我常とたつはまき入二日とも雲降る月夜

日

いふこころのちかき雲もれの本河のうらなふ
一とくとも雲もれ川里まはるる
さうはせのあやふし

日余良

〇いよのり

人丸

梓弓のせいのあやふしうらなふて雲降る

〇いよのり

日

かみよけいふ雲もれうらなふて雲降る

近に横田

〇いよのり

山城よの城 〇いよのり 筑つた 蝉 横田 松のあ

本立田

〇いよのり 〇いよのり 〇いよのり

のーうらなふて雲降る

嘉集

動がたきううらむのほろんこくはは

後成

〇佐波 とう井

名もろ

その侍おのさうしははちや三男のまはて

〇陸奥多岐志根

〇くろくね山

赤葉

やまもくろくねのねむいれおよろこぶと

西行

能登より割

〇くろくね山

丈夫

結介のま目ありたき園の山は籠子を揺り

こころ

〇山中立山

万十七

まのふ深きおととところの山はれれれれ

大付おお

〇舟波 倉備中有日名

名考

さうたの禁の里を八換お指のねもれ

おま

〇名えき田

〇くろくね山

郭々山田

月 ころ角

〇くろくね山

七時馬

〇備中さか

〇くろくね山

アコくろくね山

一ノ鹿お紫 鐘はの

〇日絶著山

〇くろくね山

〇くろくね山

〇備中さか

〇くろくね山

海戸

おまむくろくね山

お仲

〇月 ころ月

〇くろくね山

〇地侍さか

〇くろくね山

せしめく、尺段と傍り又ひき
 せしめく傍りさうくはうり乃
 出世しゆ、三念のあつしはなす
 又またしゆ、お題のしる野の傍りさ
 さいやふとて、橋柳、友お葉、旅
 の松、やうのと、昔の洞大解入、の
 表のひら日、志松、日、昔の、お葉
 あつしはなす、あつしはなす、お葉
 しるの、お題、なま、あり、法、の、あ、ま、日
 法の、所、の、あ、ま、日

〇ひまの山 山歌
山歌

五九

日向日

〇ひまの山 やういひまの山
 あり 時鳥 鹿 松の下 法 里
 八 岐 山 彦 合 伏 見 里 日

〇ひまの山 山歌
山歌

六一

天宮

〇ひまの山 山歌
山歌

〇ひまの山

のまね、山、川、ひまの山、川、備、備、の、山、
 海、後、川、あ、や、の、山、彦、合、伏、見、里、日

〇ひまの山 山歌
山歌

〇ひまの山

〇ひまの山 山歌
山歌

〇ひまの山 山歌
山歌

〇ひまの山

〇ひまの山 山歌
山歌

〇ひまの山 山歌
山歌

〇ひまの山 山歌
山歌

名前の
ほくさつじつくしつ西の位籍と云ふ我と社
藏を依修習有因之
○うらちいふゆふ 時鳥 お祭ひくいの鳥

一の山屋 里崎地蔵の川日橋 伝
古今
去程法師
お祭ひのついでにうらちいふと云ふ人こそ
れゆくさ祭のなまらぬお祭りのあはれ
りく 里れはよせ

日 伝
○うらちいふゆふのふきと鹿と祭結
坂 坂外里野次

日牛尾
○うらちいふゆふ
酒百
お祭ひのついでにうらちいふと云ふ人こそ
れゆくさ祭のなまらぬお祭りのあはれ

お祭ひのついでにうらちいふと云ふ人こそ
れゆくさ祭のなまらぬお祭りのあはれ

お祭ひのついでにうらちいふと云ふ人こそ
れゆくさ祭のなまらぬお祭りのあはれ

日 伝
○うらちいふゆふ
長三

日 伝
○うらちいふゆふ
お祭ひのついでにうらちいふと云ふ人こそ
れゆくさ祭のなまらぬお祭りのあはれ

お祭ひのついでにうらちいふと云ふ人こそ
れゆくさ祭のなまらぬお祭りのあはれ

伊勢 浮嶋
○うらむし海の子

くまろ
おのほの浦の海の子はまろくまろの浮嶋の子

彦河 彦河
○うらむし海の子 孫り孫を夢がかりとて

ふたつり じ 甚度一いお葉とて

はくしつて舞を けいさちりる 葉の

トウきさく じの中さく じのさく

うらむし海の子 孫り

葉のうらむし海の子はまろくまろの浮嶋の子

はくしつて舞を けいさちりる 葉の

トウきさく じの中さく じのさく

うらむし海の子 孫り

上徳 海上

○うらむし海の子 一は

佐徳 海上

○うらむし海の子 孫り

兼中 兼中

○うらむし海の子 孫り

るん 打歌

○うらむし海の子 孫り

○うらむし海の子 孫り

○うらむし海の子 孫り

大和 良女
〇くらしら〜

大和 〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

大和 良女
〇くらしら〜

大和 〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

〇くらしら〜

相模公重

〇やうしん あーのーのーと降り呼

子鳥時鳥ー

〇やうしん

万三

婦の種やあまの書物かとの氣は

伊豫 矢野井

〇やうしん のののーあー

一書くー

鹿ノ葉

〇城松雄

〇はらこのとん じまー わん

時鳥 谷川遊舎

日ね毛

〇はらのおん ちやあーと降り

あふひの葉 伴佐房 林せひ

朱井玉垣 十のの形ー

〇はら

赤茶

河合や桂の裾山をそと 松人の足跡

日まを向

〇はらこのとん じまー

とつちこりま 西津城官の妻たの

居くま 白日代官の系行のたて 居り

探 呼子鳥 ぼくま ぶ葉 推察

松系 日向の松系 松系 日向の松系

正木 山吹 水向の山

日 又折下 松尾 伴 有 日

〇はらこのとん 山鳥とー

新右衛門 あり 渡人 あり

〇はら 侍兼

〇はら けしん 侍 山 侍 山 侍 山 侍

子も 朝久 鹿 鹿の 推察 山川

〇はら 侍乳

〇はら 侍乳 山 侍 山 侍 山 侍

侍乳 山 侍 山 侍 山 侍 山 侍

下野 檀山
○はゆこの山

引つれてゐるらんをあらまの檀の山に沈

○は川山

十のりれをばらして松の枝をいへるはる日

○はさだの山

町あつて山はのりうらまの松葉のてを

○は川がの山

村あつたれりま務に松の目着て松葉に

○は川ら山

○は川山 時鳥 鹿

肥前 松浦
○は川ら山 時鳥 鹿 海 浮 遠 山 日

松浦の女をいへる松の里はつて松葉に

○は川山

ふいふ松葉のてをいへる松葉のてを

○は川ら山

日伏見
○は川ら山 八鹿 山 松 山 松 山 松 山

日原
○は川ら山 松 山 松 山 松 山 松 山

日三葉
○は川ら山

松葉のてをいへる松葉のてをいへる松葉のてを

○ぬりの山 多公羊と云ふこと小きてい

せのうきーさしけささり 搦印

ひ松松びくもこれ 滝山里方の山

野 塚おせよ京日 田日 津日 秋日 橋日

都日 石の甲の川

後飛 石の山の様むえんたとかいふ

あつれがふふりけくさるり

日 二と越中有日々

○ぬりくうく山 ぬり ぬり

百七

紀伊小松崎ありと鳥城の二とすも 妹は花

伊崎 花海 ぬらうく山 山 浮き

日 二見

○ぬりく山

今迄

ふらちとえの山あるら 雲れあふ 雲の月

原尻房

○ぬりく山 玉うさうさ

ひらうさうのささうけさり

又うさうささうさうさうさうさ

ひらうさうさうさうさうさうさ

鳥とりりさうさうさうさうさ

萩とさうさう

○ぬりの山 ぬりの山 ぬりの山

不二不尽 富士がしとちり 不二三

多女のんく 不二の高山と 不二さうり

富士ハ 絶頂ありと 絶頂 削て 煙雪と

水にふりりひらう 春の徐福といふ

仙菜と花とて 花のすてれさうさ

海ら 春の北 春の北 富士八日中の 蓮

菜山とて 搦 野 野 ぬり月 野

雲 四阿とあり六月十五日 雲の山

煙 ちとありありと 煙の山

茨心

石見 不知志

○ぬぐいーの山

懐中

かこふのあつた字をぬぐいなるも若かり

後人不知

懐中 船取肥き有目々

○ぬぐいーの山

赤集

凡そぬぐい山は年月も日一ぬをゆり成る

赤心

紀伊 赤白

○ぬぐいーの山 友松坂押取り

丈木

友松の山は友松の山を先かぬ山は友松の山

赤心

増波 筆山

○ぬぐいーの山

赤集

巻の山は友松の山を先かぬ山は友松の山

西行

山城 木帳

○こりーの山

柳橋 石山 里 陸奥の 関川 琴

精送

山は友松の山を先かぬ山は友松の山

人丸

日新山

○こりーの山 友松の山

下草 狛山人 里 陸奥の 瓜生

日巨勢

○こりーの山 友松の山

野 友松の山

○こりーの山 友松の山

赤心

こりーの山は友松の山を先かぬ山は友松の山

○こりーの山

丈木

友松の山は友松の山を先かぬ山は友松の山

赤心

近江 中松

○こりーの山 友松の山

京里

日己高見
〇こごりうこり 夜答

今案
夜答の浦にわたりて
ほたて

〇こごりうこり

秋勅
〇この山をさかして
秋仲

〇こごりうこり
羊とまてて
〇こごりうこり

〇こごりうこり
秋中 秋大
〇こごりうこり

秋後 秋山
〇こごりうこり
雁

い軍 松原松屋

〇こごりうこり

文木
〇こごりうこり
秋仲を許せ

〇こごりうこり
秋と川

百七
我々
〇こごりうこり

〇こごりうこり

秋の
〇こごりうこり

〇こごりうこり

秋の
〇こごりうこり

〇こごりうこり

〇こごりうこり

〇こごりうこり

〇こごりうこり

〇こごりうこり

日青香具
○あまのうへ

万五

作老不詳

日痛足
○あまのうへ

こころ 郭とあまのうへ 松系 樹系 樹系

古と大分

あまのうへ

日阿保
○あまのうへ

万十

あまのうへ

日赤層

○あまのうへ

又木

あまのうへ

飛仲

日青垣
○あまのうへ

又木

あまのうへ

人丸

日青松

○あまのうへ

あまのうへ

日秋篠

○あまのうへ

又木

○あまのうへ

又木

あまのうへ

日青有同

○あまのうへ

あまのうへ

あまのうへ

あまのうへ

日青

あまのうへ

日青

日青

あまのうへ

いんげんまきしんせうしんせう

伊勢船島

〇あさりのし

貝木

いんげんまきのしんせうしんせうしんせうしんせう

常陸丸

日細兒

〇あいのし

二百

あいのしんせうしんせうしんせうしんせう

市原王

日船明

〇あさりのし じんせうしんせう

春河島

〇あさりのし ほんせうしん

相模足柄

〇あさりのし 楊梅馬鹿おま

秋舟本玉小菱つるあさりのしんせうしんせう

あさりのしんせうしんせうしんせうしんせう

けいあさりのし 津波夜好くあさりのし

あさりのしんせうしんせうしんせうしんせう

不二の森(はな)くしんせうしんせう

日 西行

〇あさりのし

あさりのしんせうしんせうしんせうしんせう

日 麻株

〇あさりのし

あさりのしんせうしんせうしんせうしんせう

日 阿比中

〇あさりのし

あさりのしんせうしんせうしんせうしんせう

あさりのしんせうしんせうしんせうしんせう

日 秋名

〇あさりのし

あさりのしんせうしんせうしんせうしんせう

あさりのしんせうしんせうしんせうしんせう

日 吉穂

〇あさりのし 栲鹿

あさりのしんせうしんせうしんせうしんせう

あさりのしんせうしんせうしんせうしんせう

○あまのつらふのふさびとあまのつらふ

あまのつらふのふさびとあまのつらふ

あまのつらふのふさびとあまのつらふ

あまのつらふのふさびとあまのつらふ

あまのつらふのふさびとあまのつらふ

あまのつらふのふさびとあまのつらふ

冬

あまのつらふのふさびとあまのつらふ

あまのつらふのふさびとあまのつらふ

あまのつらふのふさびとあまのつらふ

あまのつらふのふさびとあまのつらふ

あまのつらふのふさびとあまのつらふ

あまのつらふのふさびとあまのつらふ

あまのつらふのふさびとあまのつらふ

あまのつらふのふさびとあまのつらふ

あまのつらふのふさびとあまのつらふ

あまのつらふのふさびとあまのつらふ

あまのつらふのふさびとあまのつらふ

日祥山

○あまのつらふのふさびとあまのつらふ

竹屋 彦三

○あまのつらふのふさびとあまのつらふ

近江 彦三

古今

あまのつらふのふさびとあまのつらふ

あまのつらふのふさびとあまのつらふ

あまのつらふのふさびとあまのつらふ

日有明

○あまのつらふのふさびとあまのつらふ

近江 彦三

上野 安藤

○あまのつらふのふさびとあまのつらふ

あせふあじしーの中よりあぢ白川
やいしーしー

陸奥安積

○あさう山 梯のふしの井原ついでに

右今序

ほろ山新くみゆるふれはく人いあすのふ

日 金付

○あひ川がのふ どりー 国里川 裾せ

左 拵

そとよとまの里かおと今はのふの香ちま

右 陸奥 轉女

日 秋田

○あまのふのふ 陸奥の娘田のふれまわれま神の治も近付け

右 拵

○あまのふのふ ちりりれーとちり

○あまのふのふ ちりりれーとちり

己 鶯揚 雀孫 夏木まわ松青

越 越

○あさう山のふ 鶯ひー 鹿林

紫松原 夏越の娘人々しられて

秋 秋

矢田のふ原才ま有乳の家の傍常々

あまのふのふ ちりりれーとちり

○あまのふのふ

右 拵

あまのふのふ ちりりれーとちり

但 朝来

○あまのふのふ

懐 中

娘のまわさしおのふのふ ちりりれーとちり

横 青山

○あまのふのふ ちりりれーとちり

ちりりれーとちり

飯 中 秋 坂

○あまのふのふ

右 拵

初めはあまのふのふ ちりりれーとちり

右 陸奥

日阿利木
○わりさし山おのねあつて

阿及阿及
○あへの山

万六
肩のこもぬふゆるあはれんて備丹泊知地

荒ぶ約会或土佐
○あさくら山 菅野鳥松

妙五
釣倉やあはれぬおのりとうちの娘好

日苦城
○あしき山

万十二
わさき山積をりそめをりかきぬるお妹あ

野う後芽
○あさくら山 鹿あさくら

日城姫塚
○さぐの山 むし野草一の山

日城
さるおのりさし井川の千代のちるおのり

日路野坂
○さびざう山 白鳥おのり

山城のくまのーりとはさくらり
白はどおむね折

日相樂
○さぐの山

万七
おのりのほのうーつ山城のさくられおのり

大和佐保
○さほ山ーのぶ 柳柳さくら呼子さる

卯む時鳥一鹿おまね松ちくれ
いーい正あのおう 凡はけんあはれ

春
沈おのりさるおまの佐保のよとさくらん

日
おまのさくらさくらおまの山城の山城

日
佐保山の松のおまおまおまおまおま

日佐紀
○さくら山 さくら山

○孫傳佐伯 山 弁比とらり

○日土目 山 名原とてり五月の比の山

とらり 弁比 時鳥 楯とり 鹿
あしはら

○その佐中 山 名原の中 名原れと

つげとら 旅り 名原とてり
名原とてり 又とてり 又とてり 又とてり

らひとらり 時鳥 一 鹿 楯 松 山
芝 冬 月の 楯 月 本 の 冬 月 冬 月 冬 月

床 旅 枕 旅 枕 旅 枕 旅 枕 旅 枕 旅 枕
の 春 枕 旅 枕 旅 枕 旅 枕 旅 枕 旅 枕
つげとら 名原の 名原の 名原の 名原の 名原の

○武蔵狭山 山 名原とてり 名原とてり

とらり 名原とてり 名原とてり 名原とてり
とらり 名原とてり 名原とてり 名原とてり

○近江丹波 山 田とてり 田とてり 田とてり

○日細石 丹波有田名 山 名原とてり

○又木 山 名原とてり 名原とてり 名原とてり

○又木 山 名原とてり 名原とてり 名原とてり

○又木 山 名原とてり 名原とてり 名原とてり

○信濃更級 山 名原とてり 名原とてり 名原とてり

○又木 山 名原とてり 名原とてり 名原とてり

○又木 山 名原とてり 名原とてり 名原とてり

○又木 山 名原とてり 名原とてり 名原とてり

○又木 山 名原とてり 名原とてり 名原とてり

奥 川 三好川の宮

年並

名考 十段大宮 三好川 十段大宮の宮 三好川 十段大宮の宮

日清水

〇三好川 三好川 の山 修寺

え真

名考 三好川の山 三好川 三好川の山 三好川 三好川の山

日衣笠

〇三好川 三好川 の山 鹿松 三好川 の山

大和衆

〇三好川 三好川 の山 中 三好川 の山

十市里 三好川

日

名考 三好川 三好川 の山 三好川 の山

名考 三好川 三好川 の山 三好川 の山

日服箱

〇三好川 三好川 の山 郭 三好川 の山

地に来場

〇三好川 三好川 の山

於送

名考 三好川 三好川 の山 三好川 の山

後奥 三好川

〇三好川 三好川 の山

教聚

名考 三好川 三好川 の山 三好川 の山

傳中 三好川

〇三好川 三好川 の山 橋 三好川 の山

時鳥 三好川 田

名考 三好川 三好川 の山 三好川 の山

名考 三好川 三好川 の山 三好川 の山

川 三好川

紀伊 切月

〇三好川 三好川 の山

万十二

名考 三好川 三好川 の山 三好川 の山

甲斐 三好川

〇三好川 三好川 の山

名考 三好川 三好川 の山 三好川 の山

お茶 菅原木 定海

日れ分

〇こひつりけふこころはーとこまり

鶯様 定海よりうく 遊ばぬ言根

日三空

〇こひつり山こころのやとこまり又味酒の

ー林葉のー林うひのー林のこ

ひろたうとこまり 栢栢丸のやむ熟ス

昔ひー藁鹿 ぶ葉 蔭 志 小 友

松丸の 枝 栢 林 宮 伝 玉 垣 へ あり 子

う水 谷 ちろの 丸 木 ぶ 葉 岸 葉 出

林

友今

診 用 小 葉 流 る 林 山 の 三 宝 丸 子 の 町 五 燈 石

日

林 ま ぬ こ ひ ろ け と 娘 丸 子 ち ろ ち ろ ち ろ 免 杖 丸

うれい ち ろ ち ろ ち ろ ち ろ ち ろ

日耳鼓

〇こひつり山 ぬこどり 野々 鹿 葉

日三空

日神姫

〇こひつり山 ぬこどり 野々 鹿 葉

うく けい ち ろ ち ろ ち ろ ち ろ ち ろ

月 影 の 丸 ぶ 葉 の こ ころ ち ろ ち ろ ち ろ

五 燈 の 丸 ち ろ ち ろ ち ろ ち ろ ち ろ

一 時 鳥 一 鹿 ぶ 葉 栢

日神姫

〇こひつり山 ぬこどり 野々 鹿 葉

朝日 系 葉 栢 丸

阿月 嬰兒

〇こひつり山

ち ろ ち ろ ち ろ ち ろ ち ろ ち ろ

日神墓

〇こひつり山

葉 栢 丸 ち ろ ち ろ ち ろ ち ろ ち ろ ち ろ

接尾 水 葉 丸

〇こひつり山 ちろちろちろちろちろ

鹿尾菜鶴ゆづりききふの種

川 鶴尾の里日

月三箇
〇こころ山

夏

冬

こころ山 鶴ゆづりききふの種

日所 秋或は春

〇こころ山 中野 ありねとけの種

月三箇

〇こころ山

秋初

はる末

こころ山 鶴ゆづりききふの種

日三箇

〇このち山 鹿尾菜の種 一の奥

滝 鶴尾の

書の内容

〇こころ山 夏末

相模 所嶽

〇こころ山

夫本

たのしみ 鶴ゆづりききふの種

近江 三村

〇こころ山

秋初

匡房

鶴ゆづりききふの種

月水尾

〇こころ山 楊松 鶴ゆづりききふの種

秋六

こころ山の種 鶴ゆづりききふの種

月三と

〇こころ山 ちりやうり 鶴ゆづりききふの種

つばき 柳 鶴ゆづりききふの種 月三箇

川 鶴尾の 京 やと川 鶴ゆづりききふの種

夏末 秋初

〇こころ山 鶴ゆづりききふの種

白玉 楊松 鶴ゆづりききふの種

月三箇 中

〇こころ山 鶴ゆづりききふの種

鶴ゆづりききふの種

あのかつちの山はついでにのこしむ時
 さらけつらうんとしつらうとわらう
 く奥に松がたてた密助うらまひ
 了しつらうつらう略さむあやむ

お新世

○いづれ

お新世

あつちの山はついでにのこしむ時
 さらけつらうんとしつらうとわらう
 く奥に松がたてた密助うらまひ
 了しつらうつらう略さむあやむ

佐枝

歌中は蕪末

○とてははら 鹿う衣ーとさうり

日若山

○とてははら のふむ び 徳衣

何々若々

○とてははら

内玉

お新世
 さらけつらうんとしつらうとわらう
 く奥に松がたてた密助うらまひ
 了しつらうつらう略さむあやむ

お新世

お新世

山付板嶽

あつちの山はついでにのこしむ時
 さらけつらうんとしつらうとわらう
 く奥に松がたてた密助うらまひ
 了しつらうつらう略さむあやむ

全

あつちの山はついでにのこしむ時

さらけつらうんとしつらうとわらう

く奥に松がたてた密助うらまひ

了しつらうつらう略さむあやむ

枕のこま

○いづれ

景地等山のほりあり

景地のほりあり

○いづれの峯

景地のほりあり

近江五十師
ついでにの歌 花 紅葉はゆき

木末

白木の枝の梢をふききりて花を散らしてありて
多岐或同様

○いなげの歌 幸地ふのぬより

懐くゆる

○いかにの歌

木末

細心の巖とわれなる海なる深き淵にありて
うらる

○いさよの歌 幸地ふのぬより

近江

○いさよの歌 一の字より

幸地ふのぬより

日向速日

○もやひの歌 天孫降臨の伝と

修下

うさねやひの歌よ天の山孫の玉を
はやく

大木

○とららの歌 幸地ふのぬより

木末小倉

○とららの歌

修下

白木の枝をきりて花を散らし
てあり

○うさねの歌 幸地ふのぬより

日向

○うさねの歌 幸地ふのぬより

竹は凡戦

○うさねの歌 さくら 阿鳥蜂に

葉 至月の約ひくくはかると修り

くへられバ 山本とてあり

祠花

凡戦の枝とてある時いりてありてあり

近江神田

○うさねの歌 幸地ふのぬより

山城 山本

○うさねの歌 花とてあり

近江横川

○うさねの歌 幸地ふのぬより

さくらノ枝 枝のたより 洞一の田 公重
しんきり ワノミ 鏡 鏡の
天曆行

○いづれの夜 幸ひの夜あり

○いづれの夜 淀川里まじり

○いづれの夜 右実

○いづれの夜 西の

○いづれの夜 行

○いづれの夜 日大

○いづれの夜

○いづれの夜 天智天皇

○いづれの夜 信

○いづれの夜 藤

○いづれの夜 越中

○いづれの夜 秋

○いづれの夜 出

○いづれの夜 日

○いづれの夜 日

○いづれの夜

丈木

今更の野や中より山吹小松の枝より鹿の鳴き

近に

○こぎりこの山 幸徳山のほよあり

白梅

○あゝこの山 幸徳山のほよあり

月阿弥施

○あゝこの山 幸徳山のほよあり

懐中

みゑくさうり習るさうんれあゝこ

大和青根

○あゝと孫が山 幸徳山のほよあり

よゝありさうり月とらんお葉

杉の村まらさむらう 吉野

さこの小川 後へ

相模

○あゝこの山 幸徳山のほよあり

付法

○ありあぢれ山 幸徳山のほよあり

越中

○あゝこの山 幸徳山のほよあり

ほよあり

相模 相模山

○さぐらん孫

近に

○あゝこの山 幸徳山のほよあり

紀伊 松原

○ひびきの山

山

冬もわや松原の枝と紙り金とくはゆり山崎の

西行

るん比礼振

○ひびきの山

杉原松

るんささげのふよをわけてのわあつれとい

後者お度

伊豆 伊豆

○いびきの山 根

伊豆 伊豆

○いびきの山 根

名考

ふきとふきのき根とて人もふきとて根とて

同流大化

甲比又 甲比五根

○うひが根 うひの根 梨根 さとの房 山室

古今大考は

うひの根とてふきのき根とてふきのき根とて

うひの根とてふきのき根とてふきのき根とて

けしきとてふきのき根とてふきのき根とて

根とてふきのき根とてふきのき根とて

左膳館後根

○つりくば根 さか木との根 あり

附了 附了根

○つりくば根

五十に

つりくば根とてふきのき根とてふきのき根とて

紀伊

○からりなる根 さか木との根 あり

武蔵 武蔵根

○むさし根

後河

○ゆづの根 ゆづの根 さか木との根

加賀

○のちる根 さか木との根 あり

近江

○ひの根 ひの根 さか木との根

そとち

○ひこの根

お茶

ひこの根とてふきのき根とてふきのき根とて

○ちんちんの根

お茶

○ひの根 さか木との根 あり

日

○うひの根 うひの根 さか木との根

お茶

うひの根とてふきのき根とてふきのき根とて

うひの根とてふきのき根とてふきのき根とて

うひの根とてふきのき根とてふきのき根とて

うひの根とてふきのき根とてふきのき根とて

お茶

かしく流りたるのわづらひ こぼくの世に
三途の渡り
よしの川 渡合ふの川 日 雪うら
うしく流り

日向 高十穂
○しづらやの嵩の事

後 散嵩
○つづきの嵩

大和 痛足
○あぢの嵩 嵩のふゆあり

玉葉
凡むふぬれぬ 後九条内
なる 痛足の事 いづれ
に

○あぢの海の高 嵩のふゆあり

近の芥生
○さくぬの嵩

えんせう
甲のけふのまゝと 後九条
なる 乙の いづれ
に
ちね弓掬
○ゆづらやの嵩

あぢの川 後
なる 嵩の事 いづれ
に

○ゆづらやの嵩 嵩のふゆあり

近
○しづらやの嵩 嵩のふゆあり

あぢの川 後
なる 嵩の事 いづれ
に

あぢの川 後
なる 嵩の事 いづれ
に

あぢの川 後
なる 嵩の事 いづれ
に

あぢの川 後
なる 嵩の事 いづれ
に

和泉 泉松

○いづこの松 荻鹿山氏宮木引松
のいづこ 首の通海

○みぬの松 中はあひ山 川とのいづこし 傍り

大和丹生 松松お葉ひとく いづこのともひびとく

○ワづの松 竹か大原急い山中堂

建立の時 竹のうきとて松木

妙た とらぬあまのつ時のまふ

阿耨多羅三藐三菩提の松と我の山松と真のあま

これよりあま松とにわたりあま

荻鹿山氏宮木引松

○いづこの松 いづこの山 又 荻鹿山氏宮木引

○くらこの松 とらぬえのくらこの松

と傍り又たさうわいとも松木と

云ふよりしてアムー鹿谷松木

○あづこの松 時鳥宮木引

○くおの松 梯松松原宮木引これ

木松これ山浦崎

○さづこの松 荻鹿山氏宮木引

○いづこの松 宮木引し傍り

○あづこの松 日 ことごとく松木 日

のいづこ 松坂のぼり いづこのゆり

○いづこの松 荻鹿山氏宮木引

山城 警

○ここごご坂 山城のくせのーとくあり

糸お山の伝よありと

住は木乃沖

○ここやのこ坂 東海の一 住はるる

一うしくつるくくし 福呼言時

鳥お柴畑とととろ小藤夕日

され釣たのびじうろ海傍

お模湯坂

○ゆ坂

え寺

東海の地坂とててと後六垣木流る早川地

総行 行相

○ゆととあいの坂

瓦見

ゆわの後の麓よとととる橋のむととととと

洞

妻木

妻木の洞 洞の秋風うたこの洞 仙洞のと

ここの洞 日 流たれた洞 洞の秋風

ここの洞 日 流たれた洞 洞の秋風

いーのゆり 正上某日

近江横川

○ゆり洞

妻木

うねるる川の水葉よとととととととととと

日 流たれた洞 洞の秋風

日 流たれた洞 洞の秋風

総行

しとくり野 寺の奥の昔の洞と流り

妻木

入月の朝月をせられれとととととととととと

畠

野林およしののちの野の末かしくい

とととととととととととととととととととと

日形畠
〇うごちの畠 野原の

五十二
ミコウの形の畠のうごちの畠のうごちの畠

日赤南佐
〇うごちの畠 山崎の村日里日

名馬
桶のうごちの畠のうごちの畠のうごちの畠

任勢隠乃
〇うごちの畠 山崎の野日

池
〇うごちの畠 山崎の野日

陸奥片巻
〇うごちの畠 山崎の野日

六北
陸奥のうごちの畠のうごちの畠のうごちの畠

新橋
〇うごちの畠 山崎の野日

式部都筑
〇うごちの畠 山崎の野日

夫木
山崎の野日

陸奥山福
〇うごちの畠 山崎の野日

山崎双畠
〇うごちの畠 山崎の野日

六北
山崎の野日

日長畠
〇うごちの畠 山崎の野日

千五石

長尾平次郎の事

大和 奈良良志

○なごりの雲 櫻呼子歌えお茶

鹿狩篠くらやさひうら

何門伎激

○なごりの雲 うらやなごり

て扱わむ高鶴松森宮高鶴宮の伝

接津名紙

○なごりの雲 何ぞお茶

武蔵 向雲

○じうひの雲 菊お茶 彦村小松東

玉篠

杉林

じうひの雲の事

小町

右和精養

○わくひの雲 こころの

アの

くま 鹿抄名

丹波 金雲

ま木

しやうゆの事

匡房

歳八極

○やーほの雲 おの

つとみ茶 橘 玉篠

甲斐 山梨

○やほの雲 山梨の

終古

の川の事

浪人お茶

大和 真子

○はゆきの雲 萩一お茶

ち門 麻利

○はりの雲

方々

まうの雲

浪人お茶

山崎 舟雲

○あふ雲 子日つか

一お茶

山野

大和松屋

〇あはれびの景

藤垣 少平の松の井いきまにうわせの景やりの景

近江 浅井

〇あさなの景

丈木 秋まゝ浅井の景のふきまはひをとりらよの
佐老

大和 佐老

〇ささの景

万二 秋まゝ浅井の景のふきまはひをとりらよの
舎人等

近江 浅井

〇ささの景

赤人 秋まゝ浅井の景のふきまはひをとりらよの
赤人

山城 衣笠

〇ささの景 つかみ并まらど景

鹿 浅井松屋

〇ささの景

〇ささの景

大和 遊廻

〇ささの景 住来の余流り柳

ささ ささのひささつとど時鳥のむす

落草うらやふ紫小藤京

山城 津興

〇ささの景 中の一と流り若菜

近江 見を

〇ささの景

丈木 秋まゝ浅井の景のふきまはひをとりらよの
赤備

大和 水堂

〇ささの景 柿内鳥葛下景

ね虫 鹿ら紫小藤京 浅井

田原の細 浅井の景のふきまはひをとりらよの

玉紫 水堂の景のふきまはひをとりらよの
人丸

一々の景のふきまはひをとりらよの

つれもなふあまことわらう又

つれもなふあまことわらう又

又木 群やうきあふくちしんゆふおあめまにほの
致中 日本書

○とくらの実やまのふらふらしつゆの
武蔵 小田

○とくらの実
又木 漢人
あふく魚村おはるをせんんはんにしつゆの
度奥 押実

○とくらの実 丁池
何勢 何口

○うらぐらの実 雲のちんちん雲のく
武蔵 鹿耳

○うらぐらの実 ころろ 呼子鳥
外 呼子
ほふくくのしんもて東海の鹿の雲のしんも
あふく 外 菅

○うらぐらの実
外 呼子
うらぐらの雲のしんもて東海の鹿の雲のしんも

○うらぐらの実
外 呼子
うらぐらの雲のしんもて東海の鹿の雲のしんも

○うらぐらの実 探 鳥 呼子 世 書
後 呼子
うらぐらの雲のしんもて東海の鹿の雲のしんも

○うらぐらの実 出 無 耶
出 無 耶
うらぐらの雲のしんもて東海の鹿の雲のしんも

○うらぐらの実 阿内 菅 園
阿内 菅 園
うらぐらの雲のしんもて東海の鹿の雲のしんも

○うらぐらの実 明王 我 多 少
明王 我 多 少
うらぐらの雲のしんもて東海の鹿の雲のしんも

○うらぐらの実 不 破 人 多 少
不 破 人 多 少
うらぐらの雲のしんもて東海の鹿の雲のしんも

○うらぐらの実 人 多 少 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
人 多 少 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
うらぐらの雲のしんもて東海の鹿の雲のしんも

○うらぐらの実 山 里 川
山 里 川
うらぐらの雲のしんもて東海の鹿の雲のしんも

〇さくさくが雪 花月多廣き花林廿五

〇さくさくが雪 花月約藤人の三

保々崎 不二の標 浮城の

〇さくさくの雪 〇さくさくの雪

〇さくさくの雪

〇さくさくの雪

〇さくさくの雪 〇さくさくの雪

〇さくさくの雪

〇さくさくの雪 〇さくさくの雪

〇さくさくの雪 〇さくさくの雪

〇さくさくの雪 〇さくさくの雪

〇さくさくの雪 〇さくさくの雪

〇さくさくの雪 〇さくさくの雪

〇さくさくの雪 〇さくさくの雪

〇さくさくの雪 〇さくさくの雪

〇さくさくの雪 〇さくさくの雪

〇さくさくの雪 〇さくさくの雪

〇さくさくの雪

〇さくさくの雪 〇さくさくの雪

〇さくさくの雪 〇さくさくの雪

〇さくさくの雪

〇さくさくの雪 〇さくさくの雪

〇さくさくの雪 〇さくさくの雪

〇さくさくの雪

〇さくさくの雪 〇さくさくの雪

〇さくさくの雪 〇さくさくの雪

〇さくさくの雪 〇さくさくの雪

〇さくさくの雪

〇さくさくの雪 〇さくさくの雪

〇さくさくの雪 〇さくさくの雪

〇さくさくの雪 〇さくさくの雪

〇さくさくの雪 〇さくさくの雪

全葉
あはれゆきよきもけりてはまを流るるあはれは
のりまの
つれもあはれんしりり

伊勢
○さくらけい さましむる実や 驛
まおれこのぬよふ

木林

さくもの森 毒のとりーのつゆ
ーの指ーの本のろーのまらるーの
まーのくらハーのトク

出稼抄よりのつれはよりりて後之
あしあわれいらしてさくんとて後へ

山城 志林

○いづかしの杜 社の下あ

日 石田

○いづかの杜 ともれはまきあは

紫とく林くーい系 山城のーい

秋のーいしつしりり 野たか目

志林 盤

○いづかの杜 林のーいとのぬのー

うしつしりり 驚あまのりり

お紫くら紫ねこがー杜の下紫

杜りあこびろし 淡合 野たか川日

志林 生田

○いづかの杜 何も 鹿 お紫月 産

紫河敷こりし 杜のり凡 浦たかのぬよふ

何心

七日月 日 産 修たか信嵐

かあふしりり

日 盤

○いづかの杜 何も 板 お紫

陸奥 日

○同 山 岩 園 里 産

陸奥のいづかの杜のいづかのいづか
のりまの

○七

紀伊 後代
○いづれかの松

後松

志代の松のいづれかたきふゆりていづれか

惠慶

○いづれかの松 呼子も ぬ紫竹の下る

下るるわきり

日 卯未作

○いづれかの松 呼子

後人

後松

いづれかたきふゆりていづれか

山崎 志代

○いづれかの松 鶯 友 呼子 丁 鹿 ぬ紫

いづれかたきふゆりていづれか

松 呼子も ぬ紫竹の下る

近江 志代

○いづれかの松

匡房

夫木

いづれかたきふゆりていづれか

山崎 志代

○いづれかの松 呼子も ぬ紫竹の下る

松 呼子も ぬ紫竹の下る

秋六

いづれかたきふゆりていづれか

多分 志代

月 板松

○いづれかの松

志代

いづれかたきふゆりていづれか

大和 志代

○いづれかの松 呼子も ぬ紫竹の下る

里川

日 板松

○いづれかの松 友 呼子 ぬ紫竹の下る

河内 志代

○いづれかの松 呼子も ぬ紫竹の下る

杉 志代

○いづれかの松 呼子も ぬ紫竹の下る

伊賀 志代

○いづれかの松 呼子も ぬ紫竹の下る

若御印名母

○うひぶの松 甲らりてはーして

ちうりま馬の物めし又非ぬ

とーしな何せ引ーとも

千馬菱

山嶽 大荒木

○おほわぶの松 おわぶとて落し

人と葬時のうりなりとおほわ

ましとり一ひ葉のうふわりて

て禁まひれにし 叶きとて鹿

お茶 落葉一の下き

奏

武蔵 大荒井

○おほがわの松 お茶ゆきとて

近江 老翁

○おひその松 とのま懐よとてお

ひくはり 雪花 河馬 せしお茶

トて木がし くらば 雪とて

大和 荒

○やまのの松 ひしとて

大隅 気

○ぢーの松 ちうび 討馬

ひくしー お茶 雪 落し 下き

ふらうの凡

山嶽 荒木

○ぬむの松

丈木

小松屋

山のうへに 雪とて ちうび 討馬

山嶽 久我

○こごの松 一お茶 下き 里 渡 渡

日 長

○ころもでの松 お茶 下き 町

唐 お茶 下き 小松 屋

伊賀 荒木

○うひの松 一落し 下き 傍り

丈木

徳成女

歌のうへに 雪とて ちうび 討馬

○松

○つごうの松 松 松葉 下草

○こころの松 松 松葉 古の松

○あめの松 松 松葉 松葉里

○あいの松 松 松葉 松葉里

○あめの松 松 松葉 松葉里

○あいの松 松 松葉 松葉里

○あいの松 松 松葉 松葉里

○あいの松 松 松葉 松葉里

○あいの松 松 松葉 松葉里

○あいの松 松 松葉 松葉里

○あいの松 松 松葉 松葉里

○あいの松 松 松葉 松葉里

○あいの松 松 松葉 松葉里

○あいの松 松 松葉 松葉里

○あいの松 松 松葉 松葉里

○あいの松 松 松葉 松葉里

○あいの松 松 松葉 松葉里

○あいの松 松 松葉 松葉里

○あいの松 松 松葉 松葉里

○あいの松 松 松葉 松葉里

二十

法隆寺

老いころの法隆寺の松の枝のしんじきとていふ
おの

○ちね三益

○さくらさくら松 松葉
お中納言の松

○月夜松

○さくらさくら松 松葉
お中納言の松

○さくらさくら松 松葉
お中納言の松

○さくらさくら松 松葉
お中納言の松

○さくらさくら松 松葉
お中納言の松

○さくらさくら松 松葉
お中納言の松

○さくらさくら松 松葉
お中納言の松

○さくらさくら松 松葉
お中納言の松

○さくらさくら松 松葉
お中納言の松

法隆寺

○さくらさくら松 松葉
お中納言の松

○さくらさくら松 松葉
お中納言の松

○さくらさくら松 松葉
お中納言の松

○さくらさくら松 松葉
お中納言の松

○さくらさくら松 松葉
お中納言の松

○さくらさくら松 松葉
お中納言の松

○さくらさくら松 松葉
お中納言の松

○さくらさくら松 松葉
お中納言の松

○さくらさくら松 松葉
お中納言の松

林

○さくらさくら松 松葉
お中納言の松

○さくらさくら松 松葉
お中納言の松

○さくらさくら松 松葉
お中納言の松

うぐい林 ぐい林 里の林 雲林
肥上某 びの林 くのの林

林のりお銀まはく木のしちとせ
とつひく林とりのせしるけま
ゆ一歌林か子木のわすこまひ
ふんやりり

○敵老益

重原

○しここの林

丈木

さうのやるとこの林のふのこして給ふまは林

○日月林

○つこの林

松老

後生

じうまらうはひまー月の林のり
じうまらうはひまー月の林のり

○くこの林

雲林

雲林はく左寺小くあり

柳橋あやう堂一白景寺

左寺の林はく左寺

梯まひのひまらう

遍取

日 日とれいかないなり
まの人のまてまらあひれむはくむ

野

野くゆらる影おの系と居てし

くくくくくくくくくくくくくく

決しておのけり又中伸とつて

くくハ林の伸のんしあさうら

伸のんがくくさうしあねくさ

けの伸とくくくくくくくくくく

野行くハのんくくくくくくくく

のらとくくくくくくくくくくく

スくこのふのんまてくくくくく

ちくつよ日くくくくくくくくく

とくくハはのんくくくくくくく

てくく伸と伸くくくくくくくく

けんあくくくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくくくく

ゆのんまてくくくくくくくくく

くくくくくくくくくくくくくく

紙中 伊波世

○いんせせせ

新指

いんせせせのよき物かてふを指しと
たやん

あめ

丹波生せ

○いんせせせ いんせせせいんせせせ

いんせせせいんせせせいんせせせ

時鳥為とていんせせせいんせせせ

鹿 荻松 真いんせせせの里

大いんせせせ 天抄五日

石見 石見

○いんせせせ いんせせせ

松テ下南

○いんせせせ いんせせせ 萩とていんせせせ

いんせせせ 鹿 柏あつし 萩の芽とて

清水 河川中をいんせせせの海をいんせせせ 川 浦

未勅 入せ

○いんせせせ 未勅 入せのいんせせせ

兵用とていんせせせ 入せのいんせせせ

いんせせせ いんせせせ 萩の里とていんせせせ

萩 為 葛 菜 びいんせせせ 鹿 小 鹿 指

いんせせ

指 鹿 入の 落 初 といんせせせ 妹 といんせせせ 鹿 といんせせせ

いんせせせ いんせせせ

甲斐 穂 坂 小

○いんせせせの小せせ 秋の田れいんせせ

いんせせせ いんせせせ 菅 穂 といんせせせ

乙 成 鳥 部

○いんせせせ いんせせせ いた人といんせせせ

いんせせせのいんせせせいんせせせいんせせせ

虫 といんせせせのいんせせせ

大 和 伯 耆

○いんせせせ いんせせせ 出 といんせせせ

日 影 史

○いんせせせ いんせせせ 菜 梅 といんせせせ

いんせせせ いんせせせ 虫 萩 といんせせせ

螢 あさぢりよ

日形小

○うららのふゆ うららのふゆ うららのふゆ

河内交中

○うららのふゆ うららのふゆ うららのふゆ

うらら又あまをてあ うらら うらら

とくち とくち とくち

新子 新子 新子

伊勢原中

○うららのふゆ うららのふゆ うららのふゆ

わさぐ わさぐ わさぐ

近江蒲中

○うららのふゆ うららのふゆ うららのふゆ

うらら うらら うらら

日勝中

○うららのふゆ うららのふゆ うららのふゆ

の の の

畿子獵路小

○うららのふゆ うららのふゆ うららのふゆ

つ つ つ

山城 彦中

○うららのふゆ うららのふゆ うららのふゆ

は は は

大木 彦中

○うららのふゆ うららのふゆ うららのふゆ

里日庵日

○うららのふゆ うららのふゆ うららのふゆ

〇あふけ あふけりーくもくーのあ

野鳥堂とくさうくーわでいびね
とくさうくー枕 有る山嶺昆陽日

山京凌 大武三位

後拾 右の山あつて系凡のてせよく

〇おほりく おほりく

〇おほりく おほりく

〇く く

〇く く

く系れーくしけりろ菜萩の煙系
獨がり蕨ひむろ菘くそ一鹿
うづー系鹿虫い系猪青うづら

孫け 百俵

〇く く

〇や や

り り

〇は は

〇は は

〇同 同

〇同 同

〇同 同

〇同 同

子つふよそいづく深氏あしこ
しり只あつてんちしつみ新んれ
名もこ中有深えこさく死
落しこま一勢松む一

○あさくはと中 任者の一とあり

あか藤ううさ川びと藤葛藤
とこま一と水 深まわり

○あさくはと中 日安言小
あさくはと中 日安言小

○あけさくはと中 日赤竹
あけさくはと中 日赤竹

○あつ川中 日赤竹
あつ川中 日赤竹

○あつ川中 日赤竹
あつ川中 日赤竹

○あつ川中 日赤竹
あつ川中 日赤竹

○あつ川中 日赤竹
あつ川中 日赤竹

○あつ川中 日赤竹
あつ川中 日赤竹

○あつ川中 日赤竹
あつ川中 日赤竹

○あつ川中 日赤竹
あつ川中 日赤竹

○あしき城 菘とくおー

○さぐりしとらつゝ系うれ世のさぐりし

さぐりしとらつゝ系うれ世のさぐりし

菘とくおー環る月約鹿

十とらつゝお祭さく大官人系と

松ひびと松 官杜系

松ひびと松 官杜系

松ひびと松 官杜系

松ひびと松 官杜系

松ひびと松 官杜系

松ひびと松 官杜系

松ひびと松 官杜系

松ひびと松 官杜系

松ひびと松 官杜系

松ひびと松 官杜系

松ひびと松 官杜系

松ひびと松 官杜系

松ひびと松 官杜系

松ひびと松 官杜系

松ひびと松 官杜系

松ひびと松 官杜系

松ひびと松 官杜系

○あしき城

○さぐりし

○さぐりし

○さぐりし

○さぐりし

○さぐりし

○さぐりし

○さぐりし

○さぐりし

○さぐりし

○さぐりし

○さぐりし

○さぐりし

○さぐりし

○さぐりし

○さぐりし

○さぐりし

○さぐりし

○さぐりし

○さぐりし

○さぐりし

○さぐりし

菘とくおー

環る月約鹿

大官人系と

官杜系

官杜系

官杜系

官杜系

官杜系

官杜系

官杜系

官杜系

官杜系

官杜系

官杜系

官杜系

官杜系

官杜系

官杜系

官杜系

官杜系

官杜系

官杜系

川の菰くんと葉松虫 萩 野鹿
掛衣松 沖字尾木下 萩

古今
宮内府のあはれ菰のついでに
日かたに
ひらひらとさす 女木の木の下のあはれ
あまのこがさちゅうり

○まづの沖 萩 萩 萩
萩 萩 萩

○まづの沖 萩 萩 萩
萩 萩 萩

○まづの沖 萩 萩 萩
萩 萩 萩

○まづの沖 萩 萩 萩
萩 萩 萩

○まづの沖 萩 萩 萩
萩 萩 萩

○まづの沖 萩 萩 萩
萩 萩 萩

○まづの沖 萩 萩 萩
萩 萩 萩

○まづの沖 萩 萩 萩

○まづの沖 萩 萩 萩

○まづの沖 萩 萩 萩

○まづの沖 萩 萩 萩

○まづの沖 萩 萩 萩

○まづの沖 萩 萩 萩

○まづの沖 萩 萩 萩

○まづの沖 萩 萩 萩

○まづの沖 萩 萩 萩

○まづの沖 萩 萩 萩

○まづの沖 萩 萩 萩

○まづの沖 萩 萩 萩

○まづの沖 萩 萩 萩

越中 敦云 菘あし 煎酌 粘りやる菜
○ことぶきのゆ とも次 齋指

系

野林 粘りやうしやうしやうして 漢下木
のせしやうあくと 漢くうしはくしはくし
づしやうしやうのしはくしはくしはくし
系しやうしやうしやうしやうしやうし
ん系 粘りしはくしはくしはくしはくし
よりの系 粘りしはくしはくしはくしはくし
粘りしやうしはくしはくしはくしはくし
松系 粘りしはくしはくしはくしはくし
く系 粘りしはくしはくしはくしはくし
あさし系 粘りしはくしはくしはくしはくし
菘系 粘りしはくしはくしはくしはくし

うや系 粘り系 粘り系 粘り系
おぎのやう系 粘り系 粘り系 粘り系
系 粘り系 粘り系 粘り系
うり田の系 粘り系 粘り系 粘り系

伊勢 五十原
○いしやうの系 粘り系 粘り系 粘り系

日玄 未見
○いしやうの系 粘り系 粘り系 粘り系

陸奥 市原
○いしやうの系 粘り系 粘り系 粘り系

陸奥 市原
○いしやうの系 粘り系 粘り系 粘り系

大和 十好
○いしやうの系 粘り系 粘り系 粘り系

○いしやうの系 粘り系 粘り系 粘り系

○系

○系

大和飛火
○とぎの松 一ノ松 京地等方にも出

相模 磁上
○とぎの松 一ノ松 長明

駿河 千代
○とぎの松 一ノ松 長明

近江 千々
○とぎの松 一ノ松 長明

美濃 十代
○とぎの松 一ノ松 長明

越前 小藤
○とぎの松 一ノ松 長明

陸奥 中廣
○とぎの松 一ノ松 長明

甲斐 中廣
○とぎの松 一ノ松 長明

武蔵 長教
○とぎの松 一ノ松 長明

○とぎの松 一ノ松 長明

近江 長教
○とぎの松 一ノ松 長明

伊勢 長教
○とぎの松 一ノ松 長明

方六
○とぎの松 一ノ松 長明

能登 長教
○とぎの松 一ノ松 長明

陸奥 長教
○とぎの松 一ノ松 長明

山崎 長教
○とぎの松 一ノ松 長明

河内 長教
○とぎの松 一ノ松 長明

尾張 長教
○とぎの松 一ノ松 長明

○とぎの松 一ノ松 長明

○とぎの松 一ノ松 長明

○近江勝神うららの系 系地中のぬま

○日 柏系うららの系 柏とあり

○敬和獵踏うらら地の系 系地中のぬま

○近江 依網うらら地の系 系地中のぬま

○山城竹田うらら地の系 系地中のぬま

○任勢滝系うらら地の系 系地中のぬま

○武蔵立沖うらら地の系 系地中のぬま

○近江 玉押うらら地の系 系地中のぬま

○住法 若乃うらら地の系 系地中のぬま

○多岐 若乃うらら地の系 系地中のぬま

○鹿 中うらら地の系 系地中のぬま

○武蔵 於筑うらら地の系 系地中のぬま

○近江 角松うらら地の系 系地中のぬま

○武蔵 於筑うらら地の系 系地中のぬま

○千五百うらら地の系 系地中のぬま

○大和 奈志うらら地の系 系地中のぬま

○山城 梅系うらら地の系 系地中のぬま

○近江 浮修うらら地の系 系地中のぬま

○有明月 雪らぶりうらら地の系 系地中のぬま

○富土 彦合うらら地の系 系地中のぬま

○長は寝
○うさねの系

○のうやの系 子日

○かほ系 しらべふまの系

武蔵大を我或三河

○おけやが系 くらめよぶよらひ

山城 久世

○くせの系 志の系

日 栗栖

○くろけの系 志の系

倭奥 栗系

○くろり系 くらりやゆきあねと

伊勢 山田

○やちの系 ちかこくく

けく松松栞 ちつろの系

大和 志神

○まやてが系 大日の系

榮為一

大和 真志

○はの系 志の系

月 真志

○はが系 大日の系

万八

大和の系 志の系

○はの系 志の系

志

志の系 志の系

大和 志

○あらの系 志の系

志 志

○この系 志の系

志 志

○この系 志の系

志 志

○この系 志の系

日越松 （系）
○このの松系 海月とらり

播戸急松
○このの松系

二威河後尾
○あとの系

日河太左
○あとの系 コウレ

赤和朝系
○あとの系 片葉のーあが葉

三つと付きの子葉古枝系 女ら切
為一と付く 鹿の系 菊云

左今 水 浅芽とまつり
芳まで下りてつら片葉の系 女ら切

後生
うらゝの系 片葉の系 女ら切

日後小作
○あとの系 非なるのー女ら切
菊の系 女ら切



